

たかつきの財政状況



問合せ 財務管理室 / TEL674-7352 ID 067945

令和6年度の普通会計は、35億2,300万円の黒字決算でした。黒字は昭和58年度からの継続で、健全財政を堅持しています。府内の市では唯一、市債残高が積立金残高より少なく、経常収支比率も府内トップクラスに良好です。健全な財政状況のもと、今後も市民サービスの向上と安定した行政運営に努めます。※表示単位未満は四捨五入

普通会計 (千円)

歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支
147,996,919	142,756,451	1,717,311	3,523,157

一般会計 (千円)

歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支
147,928,132	142,805,685	1,599,290	3,523,157

特別会計 (千円)

会計名	歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支
国民健康保険	34,461,150	34,322,305	0	138,846
介護保険	35,301,094	33,957,800	0	1,343,294
後期高齢者医療	8,251,867	7,935,498	0	316,369
母子父子寡婦 福祉資金貸付金	245,011	126,990	0	118,021
財産区	4,640,150	92,530	0	4,547,620



普通会計

…各地方公共団体の財政状況を同一の基準で比較できるように、公営事業以外の会計を一定のルールに基づいて取りまとめたもの。高槻市では、一般会計、母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計が含まれる

一般会計

…福祉、医療、教育や都市環境の整備を行うための会計。市税が主に使われる

特別会計

…保険料収入などを財源とする特定の事業に関する会計。原則、独立採算制をとる

令和6年度の実施施策

令和6年度は、プレミアム付商品券（第6弾）をはじめとした物価高騰対策の実施に加え、子ども医療費助成の完全無償化を進めるなど、各種施策に取り組みました。

<都市機能>

- ・高槻城公園へのアクセス道路を整備 (1億9,880万円)

<安全・安心>

- ・民間建築物の耐震化を促進 (7,598万円)
- ・特殊詐欺などによる被害の未然防止を推進 (1,047万円)
- ・中消防署富田分署の建て替えおよび多機能型消防団等訓練施設の整備 (8億6,199万円)



<健やかな暮らし>

- ・がん検診を無料で実施 (7億9,526万円)
- ・市営バス高齢者無料・割引乗車制度を実施 (7億1,903万円)
- ・グラウンド・ゴルフ場の整備に着手 (8,969万円)

<良好な環境>

- ・ごみの減量化を推進 (896万円)
- ・阪急高槻市駅前公衆トイレのリニューアルに着手 (390万円)

<子育て・教育>

- ・子ども医療費助成を18歳まで実施 (15億5,854万円)
- ・見守り付き校庭開放を小学校5校で実施 (1,142万円)
- ・学校図書館を充実 (蔵書の増冊など) (7,679万円)

<街のにぎわい>

- ・観光プロモーション「BOTTOたかつき」の取り組みを推進 (1,900万円)
- ・芥川公園をインクルーシブ遊具や乳幼児用遊具などを備えた公園に再整備 (1億4,314万円)
- ・「芥川城跡保存活用計画」の策定に着手、史跡指定地の公有化を推進 (8,267万円)
- ・将棋駒配布やタイトル戦開催など将棋文化を振興 (1億3,275万円)

<市民生活>

- ・マイナンバーカードの普及を推進 (1億5,553万円)
- ・コミュニティ市民会議や各地区コミュニティの活動を支援 (2,093万円)

物価高騰に対する 主な支援策

- 👉 プレミアム付商品券（第6弾）を発行 (15億7,862万円)
- 👉 住民税非課税世帯などに対する給付金および定額減税に伴う調整給付金を支給 (46億2,031万円)
- 👉 口径13～25mmの水道料金(基本料金)4カ月分を無償化(4億6,209万円)
- 👉 保険医療機関・保険薬局や販売農家などに各支援金を支給 (7,050万円)
- 👉 高校生年齢の子どもがいる家庭へ地元産米10kgを配布 (4,503万円)
- 👉 は市独自支援策



輝く未来を創る施策 ピックアップ

府内トップクラスの健全財政で生み出した財源を未来の高槻への施策に活用しています。令和6年度に実施した施策から事例を紹介します。

①次世代への積極投資

妊婦健診の費用助成 全国トップクラスに拡充



妊婦健診費用の助成回数を14回から17回へ拡充し、多胎妊婦にはさらに5回分を追加。全国トップクラスの助成制度を実施。**2億9,156万円**

中学校の35人学級編制 全国に先駆けて実施



令和8年度から全国の中学校で段階的な実施が予定されている35人学級編制を、令和5年度から中学校全学年で先行実施。**2億2,461万円**

小中学校の体育館に 空調設備を設置



子どもたちの教育環境の向上を図るため、小学校18校・中学校9校の体育館に空調設備を設置。令和7年度に全校への設置が完了予定。**9億6,219万円**

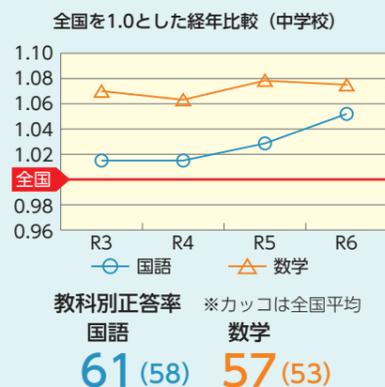
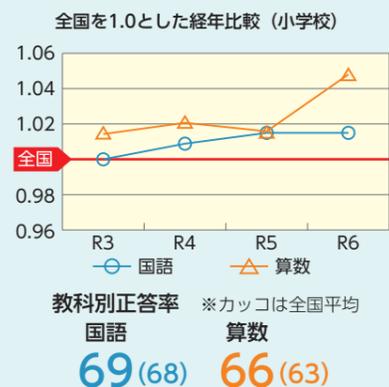
近隣都市に先駆け 小中学校の学校給食費無償化を実施



北摂地域初の取り組みである義務教育9年間における給食費の恒久的無償化を継続。食物アレルギーなどで弁当を持参する児童生徒の保護者には給食費相当分を補助。**10億4,526万円**

成果がここに

小中学校では、令和6年度の全国学力調査で好成績をキープ。学習状況調査でも課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいると感じている児童生徒の割合が増えています。



②成長基盤の強化

高槻城公園を整備 新たなシンボルエリアに



高槻城公園を、高槻城をしのばせるエリアとして整備するため、同公園北エリアの一次開園に向けて実施設計や市民会館などの解体工事を実施。**5億7,368万円**

にぎわいと交流の拠点 地域共生ステーションの整備推進



にぎわいや交流の拠点となる地域共生ステーションの令和11年度の開設に向け、基本計画に基づく整備などを推進。**5,539万円**

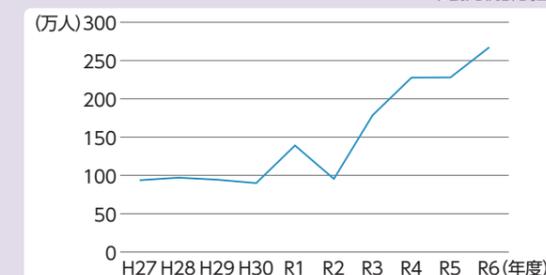
関西将棋会館が移転オープン 将棋のまち高槻を推進



関西将棋会館の建設を支援し、JR高槻駅西口周辺の地下通路の美化や休憩施設を整備。同会館と調和した、風格のある駒音公園も整備。**7億3,738万円**

成果がここに

10年間で市内の観光施設などへの来場者数が約3倍に増加。



③健康医療先進都市を推進

市民が健康でいきいき 質の高い医療・介護



市民が健康でいきいきと暮らすことができ、質の高い医療・介護が受けられる「健康医療先進都市」を推進。施策を充実させ、先進的な医療環境や取り組みを情報発信。**367万円**

成果がここに

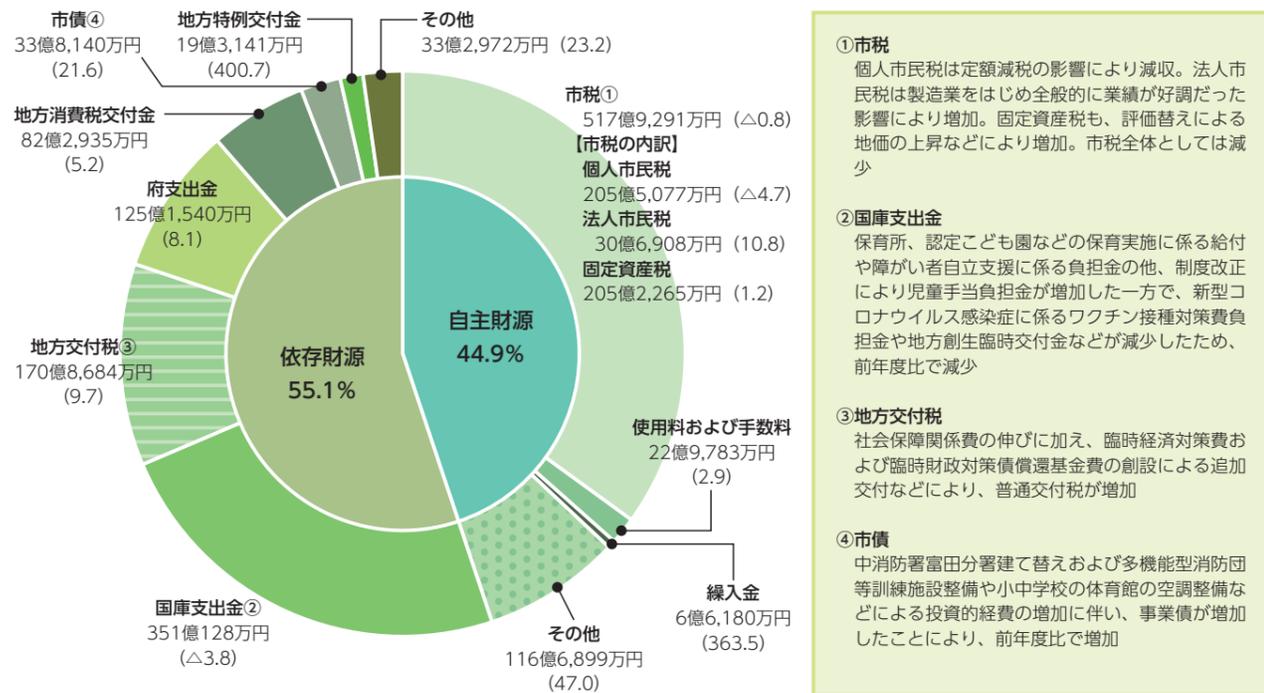
- ・がん検診受診率が全国トップクラス
全種別で府・全国平均を上回り、子宮頸がんは1位、肺がんは2位（令和5年度、全国政令市・特別区・中核市、保健所政令市88市区中）
- ・介護保険料は府内で低額
65歳以上の月額介護保険料は府内の政令市・中核市で最も低額
- ・健康寿命が府内トップクラス
令和4年までの過去5年間平均は府内33市中、女性は85.6歳で1位、男性が81.5歳で4位

グラフで読み解く 普通会計

令和6年度の普通会計の歳入、歳出の内訳です。令和5年度と比較して増減した主な理由をお知らせします。

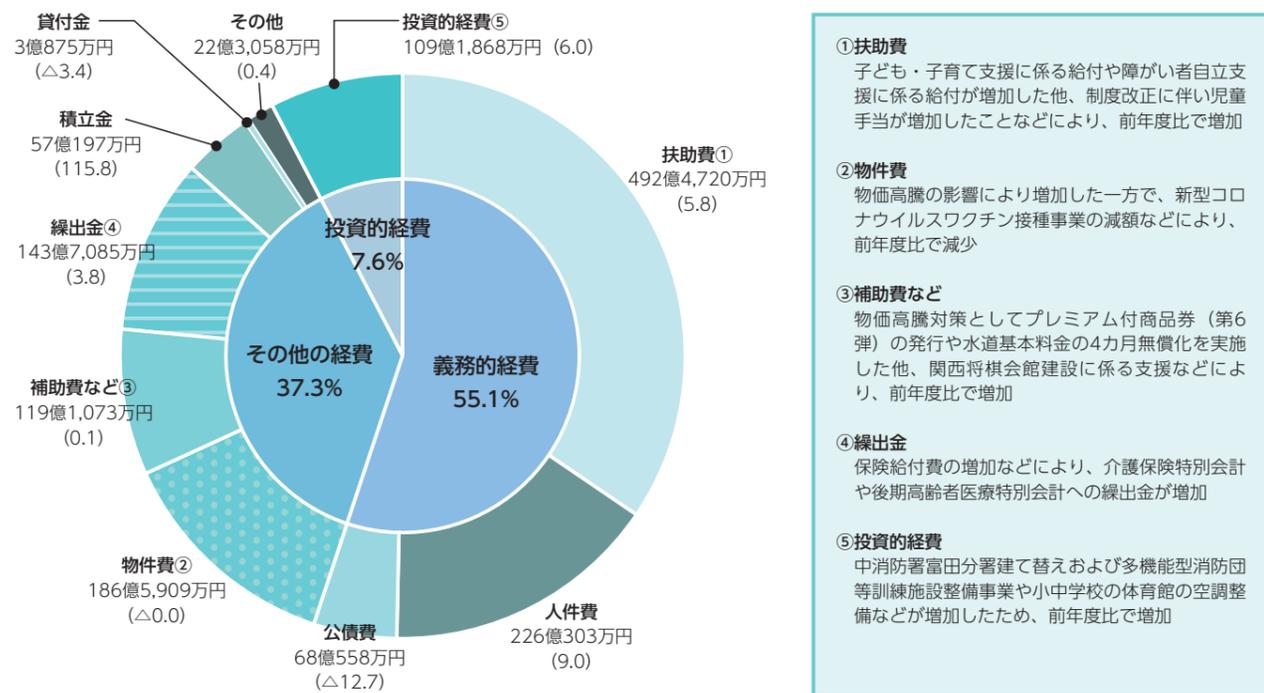
※カッコ内は前年度比増減率。△はマイナス

歳入 1,479億9,692万円 (前年度比81億3,631万円増↑)



- 市税**
個人市民税は定額減税の影響により減収。法人市民税は製造業をはじめ全般的に業績が好調だった影響により増加。固定資産税も、評価替えによる地価の上昇などにより増加。市税全体としては減少
- 国庫支出金**
保育所、認定こども園などの保育実施に係る給付や障がい者自立支援に係る負担金の他、制度改正により児童手当負担金が増加した一方で、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種対策費負担金や地方創生臨時交付金などが減少したため、前年度比で減少
- 地方交付税**
社会保障関係費の伸びに加え、臨時経済対策費および臨時財政対策債償還基金費の創設による追加交付などにより、普通交付税が増加
- 市債**
中消防署富田分署建て替えおよび多機能型消防団等訓練施設整備や小中学校の体育館の空調整備などによる投資的経費の増加に伴い、事業債が増加したことにより、前年度比で増加

歳出 1,427億5,645万円 (前年度比77億9,491万円増↑)

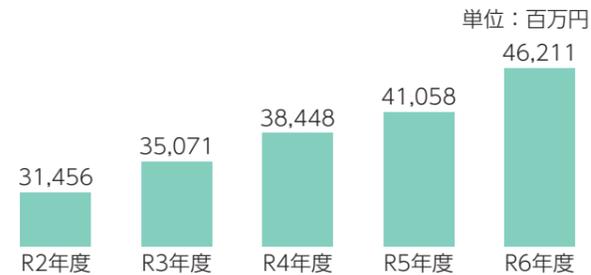


- 扶助費**
子ども・子育て支援に係る給付や障がい者自立支援に係る給付が増加した他、制度改正に伴い児童手当が増加したことなどにより、前年度比で増加
- 物件費**
物価高騰の影響により増加した一方で、新型コロナウイルスワクチン接種事業の減額などにより、前年度比で減少
- 補助費など**
物価高騰対策としてプレミアム付商品券（第6弾）の発行や水道基本料金の4カ月無償化を実施した他、関西将棋会館建設に係る支援などにより、前年度比で増加
- 繰出金**
保険給付費の増加などにより、介護保険特別会計や後期高齢者医療特別会計への繰出金が増加
- 投資的経費**
中消防署富田分署建て替えおよび多機能型消防団等訓練施設整備事業や小中学校の体育館の空調整備などが増加したため、前年度比で増加

数字で見る財政力 (財政指標)

主要な財政指標である、貯金・借金・経常収支比率はいずれの指標も健全性が保たれています。また、国が定める健全化判断比率も全て基準を下回り、堅実な財政運営ができています。

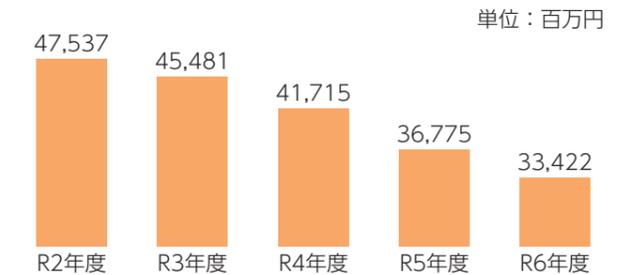
積立金残高 (市の貯金) 462億1,100万円 前年度比51億5,300万円増↑



市民1人当たりの積立金残高 (貯金の多さ)
府内ランキング 第8位/33市

積立金は、財政の安定化や将来の財政需要に備えるもので、財政調整基金や公共施設等総合管理基金など、目的に応じて積み増しています。

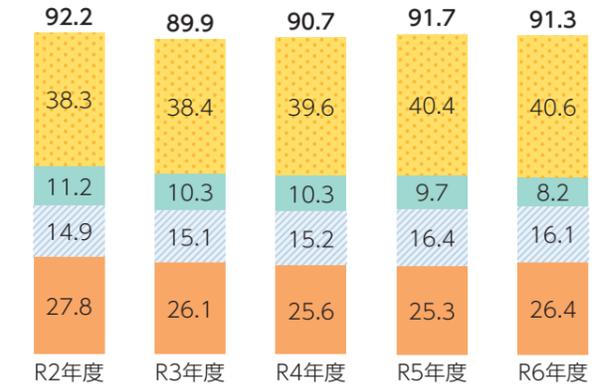
市債残高 (市の借金) 334億2,200万円 前年度比33億5,300万円減↓



市民1人当たりの市債残高 (借金の少なさ)
府内ランキング 第1位/33市

市債は、主に道路や公園、学校施設など、公共施設の整備を行うため、国などから資金を調達するもので、計画に沿って償還しています。

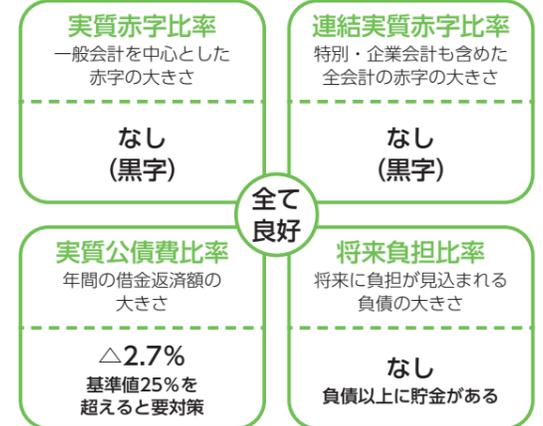
経常収支比率 91.3% 前年度比0.4ポイント減↓



グラフ下から 人件費 扶助費 公債費 その他

経常収支比率は、経常的にかかる経費が自主的に使える財源に占める割合です。臨時的な出費にも柔軟に対応できる財政状況の維持に努めています。

健全化判断比率



全ての指標が基準値を下回る良好な結果です。計画的に財源を確保しながら貯金や借金の返済を行ってきたことによって、健全財政を維持できています。

府内トップクラスの財政状況 さらなる施策充実も可能に

市は長年、積極的に行財政改革を行い、昭和58年度から42年間連続して黒字決算を継続。健全財政を維持しながら、医療や教育、子育て施策の充実に加え、安満遺跡公園や高槻城公園芸術文化劇場を整備するなど、まちのにぎわい創出にも取り組んできました。

令和6年度決算の主な財政指標を見ると、府内の市でトップクラスの良好な財政状況にあり、引き続き、市民福祉の向上を目指し、施策を充実させるとともに、健全財政の堅持に努めていきます。



たかつきの家計簿



月収
447,000円
の世帯を想
定してい
るよ

市の令和6年度の決算状況をお知らせしましたが、ここでは一般家庭の家計簿に置き換えて分かりやすく紹介します。

※令和6年国民生活基礎調査のデータを元に月額を算出

収入 (月収)

収入	金額 (円)	割合	市の会計に該当する区分
給料・年金	405,000	90.6%	市税、譲与税、交付税、各種交付金、国・府支出金
先月残ったお金	15,000	3.4%	繰越金
借入金	10,000	2.2%	市債
資産運用収入	3,000	0.7%	財産収入
貯金の取り崩し	2,000	0.4%	繰入金
その他	12,000	2.7%	使用料、手数料、分担金、負担金、寄付金
合計	447,000	100%	

収入がきちんと確保されているのが分かるね



支出 (月額)

支出	金額 (円)	割合	市の会計に該当する区分
医療費や保険料	149,000	34.6%	扶助費
食費	68,000	15.8%	人件費
光熱水費や日用品代など	56,000	13.0%	物件費
おこづかいなど	43,000	10.0%	繰出金
家のリフォーム	40,000	9.3%	投資的経費、維持補修費
習い事など	36,000	8.4%	補助費など
ローンの返済	21,000	4.9%	公債費
預貯金	17,000	3.9%	積立金
その他	1,000	0.2%	貸付金
合計	431,000	100%	

医療費や保険料が占める割合が大きいね



貯金・借金

貯金・借金	金額 (円)	市の会計に該当する区分
預貯金など	1,674,000	積立金残高
借金・ローンなど	1,210,000	市債残高

預貯金が借金を上回っているの
で、家計は安心
だね



公営企業の経営状況

公営企業会計は、地方公営企業法に基づく企業として、経済性を発揮するための会計処理方式で、独立採算制による経営が原則とされています。市の三つの公営企業会計の決算をお知らせします。

(千円)

	水道	下水道	市営バス
総収益 (A)	5,904,651	8,591,657	3,470,456
総費用 (B)	5,370,149	8,089,057	3,592,193
純損益 (A - B)	534,502	502,600	△121,737
利益剰余金残高	4,261,221	909,507	2,766,345
企業債残高	179,542	26,714,593	0

水道 水需要の減少や物価高騰などで黒字額減



管路の更新工事

黒字 5億3,450万円

黒字額は4年連続で減少。引き続き人口減少に伴う水需要の減少や物価高騰などの経営課題に直面しています。基幹管路や重要給水施設管路の耐震化など水道施設を強靱化(きょうじんか)するため、今年度10月から水道料金を改定。将来にわたり安定給水を堅持できるよう取り組みます。

令和6年度の主な事業

- 水道部庁舎耐震改修その他工事
- 大冠浄水場非常用発電機棟新築・電気設備工事
- 奈佐原受水池改修工事
- 櫻田浄水場除濁設備等築造工事
- 東天川三丁目地区などで配水管敷設工事(配水管を総延長7,864m敷設・更新)

下水道 黒字維持も厳しい経営環境 自主財源確保へ



マンホールトイレの整備工事

黒字 5億260万円

コスト削減などで黒字額が前年度より増加したものの、今後も、人口減少などによる使用料の減収、物価高騰などで厳しい経営環境が見込まれます。事業費の平準化やコスト削減に努め、マンホールふたの広告など新たな自主財源を確保しながら、持続可能な事業経営に取り組みます。

令和6年度の主な事業

- 柱本三丁目などで汚水管きよを新設
- 高槻東幹線で管きよ耐震化工事
- 災害用マンホールトイレの整備(若松小学校他5校)
- 高垣町などで管きよの更新工事
- 宮之川原元町他で局所的な浸水対策工事

市営バス 乗合収益微増も費用増加で赤字決算



キャッシュレス決済

赤字 1億2,173万円

乗降客数が増加し、運送収益も前年度比で微増。一方で、物価高騰による影響をはじめ、2024年問題への体制整備や人件費の増加、新紙幣対応のための機器改修などで費用面が増加しました。厳しい経営環境が続くため、収支改善策の検討を進めています。

令和6年度の主な事業

- 定期券販売窓口キャッシュレス決済導入
- 遅延証明書および運賃・距離証明書のウェブ発行開始
- 2024年問題に対応したダイヤの見直し
- ドライバー異常時対応システムを搭載したバス車両への更新
- 「おでかけバス」「かるがもバス」「このとりバス」の継続実施